

新制服のスタイルについて

1. 課題への対応

制服見直しの目的及びアンケート、生徒会ヒアリングの結果からの主な課題に対応する面から、ブレザースタイルが最適と考えます。

課題	ブレザー化によるメリット
寒暖対応、快適性	<ul style="list-style-type: none">・ジャケットの着脱で温度調節ができる・寒い時は重ね着ができる・女子もスラックスが選択できる
多様性への配慮、個性の尊重	<ul style="list-style-type: none">・ジャケットを男女共通デザインにできる・性別問わずスカート、スラックスが選択できる

他の課題についても、新制服の共通仕様書作成時に素材等の指定により解決することが可能です。(経済性、洗濯のしやすさ、ストレッチ性等)

2. ブレザー採用状況

全国の中学校での制服見直しによるブレザー採用率は90%以上となっています。近隣市の公立中学校制服もブレザーへの見直しが進んでいます。

- ・近隣市での公立中学校制服見直しにおけるブレザー採用校
 - 一宮市 19校中19校(令和4年度から採用)
 - 春日井市 15校中15校(令和5年度から採用)
 - 瀬戸市 7校中7校(令和5年度から採用)
 - 長久手市 3校中3校(令和4年度から採用)